

関東アコーディオン演奏交流会

No.4

実行委員会ニュース

2015.8.10発行

編集 広報部

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

『第27回 関東アコーディオン演奏交流会』

部ごとに出場順番を決める抽選会が行われる！8月2日(日)

■ジュニアの部(3名) ■初心者の部A(4名) ■初心者の部B(7名)

■シニアの部(17名) ■一般中級の部(20名) ■一般上級の部(9名) ★総計60名

※出場者の出場順番、練習時刻、練習場所などの「進行表」が完成すると出場者に「お知らせ」として送ります。

一週間前になっても「お知らせ」が届かない場合は下記へお問合せください。

問合せ先 塚本五郎 〒216-0033 川崎市宮前区宮崎 660 ☎ 044-877-9871

◎楽譜提出期限厳守についてのお願い

楽譜の提出期限は8月17日(月)です。楽譜は、審査員の方々に前もって送る都合上提出期限の厳守をお願いします。★楽譜の提出先は上記、塚本五郎(問合せ先と同じ)です。

特別審査員決まる！

早川 純(バンドネオン奏者)

5歳よりピアノ、12歳よりサクソ、15歳よりコントラバスを習い始め、様々な楽器をマスター。さらに難関である東京芸術大学音楽学部楽理科に進むなど、幼いころより音楽的才能と知性を兼ね備えていた。後に小松亮太のライブで生のバンドネオンの音色に強い感銘を受けプロのバンドネオン演奏家になることを決意する。(ホームページより一部を転記)日本の代表的なバンドネオン奏者で、世界的にも活躍されている。

御礼 視覚障がい者の介助ボランティア決まる！

視覚障がい者(全盲)の方が出場するため、アコーディオン関係者でボランティアで演奏会場内での1日介助をしていただける方を募集したところ、お蔭様で快く引き受けて下さる方が見つかりました。ご協力ありがとうございました。

目次

- 参加協力券の普及にご協力ください…2P
- 盛況だった伴奏講座…3P～6P
- コード表示(計算)尺の紹介…7P
- ぶらり訪問記「そよ風コンサート」…8P
- ぶらり訪問記「山田千賀子音楽会」…9P
- 「ペパニカ」ワークショップ…10P
- ホワイトボード／第5回実行委員会のお知らせ…11～12P

《議事録より》

8月2日(日)18:00よりエデュカス東京に於いて、第5回実行委員会が開かれました。

出席者【池田、岡田、織田、乙津、佐々木、田中、築山、東谷】

◎最初に抽選会が行われ、各部ごとの出場順番が決まりました。部ごとの出場人数は1ページの通りです。(目標の63名にあと一歩でした)

◎司会者(3名)のうち2名は決まる。残り1名を至急確保する。※午前中は、大ホールでシニアの部を、小ホールでジュニアの部・初心者の部A、Bをそれぞれ並行して行うため司会を始め、進行、呼出、椅子出し、計時(演奏時間の計測)など各係が複数名必要になる。

◎視覚障がい者の介助について…2名の方がボランティアで協力して下さることになりました。

◎参加協力券は、8月10日(月)印刷、ニュースに同封して普及のお願いを呼びかける。

◎特別審査員は、「早川 純」(バンドネオン奏者)に決まりました。(審査事務局より)

◎通常の審査員は、青山義久／川口裕志／桑山哲也／柴崎和圭／松永勇次／松原智美／山岡秀明(敬称略、あいうえお順)です。

◎プログラム印刷の日程…8月30日午後2時から「かわさき市民活動センター」にて行う。

◎伴奏講座の参加者へアンケート用紙を送る。

参加協力券普及のお願い

関東アコーディオン演奏交流会も、アコーディオン愛好家の交流の場として27回目



を迎えました。「学びあうためのコンクール」でもあるこの交流会に今回も60名のアコーディオン仲間が出場します。日頃一緒に練習している仲間だけでなく、他のサークル、あるいは他の教室などで練習している方たちの演奏を聴くことも大変参考になると思います。

実行委員会ニュースNo.4に「参加協力券」を同封させていただきました。

夏休み中でもあり、友達と連絡が取りにくい時期かと思いますが、本番まで約一ヶ月ありますので同封の券をご活用いただき、多くの方が聴きにきて下さるよう周りの方に是非広めて下さい。また、ゲストのタップダンサー「清水夏生」さんのタップもぜひ楽しんでください。ご協力よろしくお願い申し上げます。

♪ 学びあうためのコンクール ♪

第27回 関東アコーディオン演奏交流会

9月6日(日)10:00～北区滝野川会館

独奏部門：ジュニアの部、初心者の部A、初心者の部B、

シニアの部、一般中級の部、一般上級の部

ゲスト：タップダンサー 清水夏生さん

見 本



参加協力券

1000円

未・済

お名前

扱い者

第12回 伴奏講座 開催される

7月19日(日) 13:00～20日(月・祝) 15:30 会場:星槎高尾キャンパス

例年2月に企画していた伴奏講座でしたが、今年は「25周年記念コンサート」を2月に開催したこともあり、初めて夏の開催となりました。開催時期が良かったのか募集予定の30名を超え、講師2名を含めて総勢33名での開催となりました。また、受講者の約半数が初参加の方で講師はご苦労されたと思いますが、大変うれしい結果となりました。

休憩時間や早朝にも練習する姿が見られ、皆さん真剣に取り組まれていました。講師は、青山義久氏と池田健氏の二人体制でしたので、「青山教室」と「池田教室」に分かれて行いました。以下に講座の一端を紹介します。

青山教室 (2日目、全体発表に向けた講師のコメントより)

その曲の気持ちをしっかり自分でつかんで、それをメロディーとしてアコーディオンで弾けるようにしよう。それで、歌う人にメロディーを弾いて投げかけて、歌う人と一緒になってそれを歌う。それが出来れば、別にベースは弾けなくたって、あるいはオブリガードが弾けなくたって伴奏になる。そんなことをやってきました。

また、メロディーを弾くことがとても大事なんだけど、その曲がどういうリズム

でどんな風に流れているのかっていうことをちゃんと歌う人に伝えてあげる。そうすることで歌う人は安心してそれに乗っかっていける。そういう役割が伴奏者にはあるので、そのことを自覚しなくてはいけない。そんなことを意識して進めてきました。

演奏曲は、練習用に提示した「広い河の岸边」「キエフの鳥の歌」の2曲を全員で練習して、大きく2つのグループに分かれてみました。



写真上:「広い河の岸边」第1グループの演奏 写真下:「キエフの鳥の歌」第2グループの演奏

池田教室（2日目、全体発表に向けた講師のコメントより）

一応実践編ということで、伴奏できるようになる。そういうことのために具体的な勉強をする。そういうコンセプトでやってきました。何をやったかっていうと、伴奏の基本はリズムが最大重要で、リズムをきちんと出して演奏ができないと歌い手はすぐ歌いづらいということで、時間を取って練習してもらったのは、皆さん3拍子の曲が多いので3拍子を例に「ブン・チャッ・チャ」の“ブン”を「ブー」と弦を弾くようにのはずのと「ブン」と弦をはじくように出すのとでは違うでしょ。この「ブン」というのが無いと3拍子のリズムが出ない。そのリズム感を出すには蛇腹をどう使わなきゃいけないのか。そここのところから始めました。その後自分でメロディーにコードを付けて自分で伴奏譜をつくりました。

その裏付けとして、まずは長調だと音階は「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シド」、短調だと

「ラ・シド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ」っていうのがあって、ハ長調だと根音のドレミファソラシの上に3度ずつ「ド・ミ・ソ」「レ・ファ・ラ」「ミ・ソ・シ」「ファ・ラ・ド」「ソ・シ・レ」「ラ・ド・ミ」っていう和音（コード）になっていることを勉強して、その役割、長調だと1番目、4番目、5番目が主三和音（メジャーの和音）で、2番目、3番目、6番目が副三和音（マイナーの和音）になっている。その中で、例えば長調の曲の中にマイナーの和音を入れてみるとちょっと気分が替わる。これはどっちがいいということではなくて、和音が変わると、そういうふうに世界が変わってくる。そういうことをやりながら、自分なりに和音を付ける勉強をしました。

曲は練習曲として用意した、曲だけの譜面の中から選んでももらいました。「白いブランコ」「ウィ・シャル・オーバーカム」「遠くへ行きたい」「故郷」「遠い世界に」「希望」が選ばれ、それに思い思いのコードを付けました。



「遠くへ行きたい」発表の様子



「ウィ・シャル・オーバーカム」発表の様子



「遠い世界に」発表の様子



「希望」発表の様子

《参加者の一言感想の中から》

★初の参加ですけど楽しく、リズムの取り方が勉強になりました。

★井の中の蛙で、観には行くんですけど皆さんと一緒に演奏することはありません。非常に勉強になりました。次回また来させていただきますければと思います。

★もう少し歌い手にとって良い伴奏が出来ないかなと思って参加しました。二日目からの参加で時間が少なくちょっと消化不良かな、次回も来てみたいと思います。

★きょう初見で二つの曲を皆さんの前で一緒に弾いた経験が“やったっ！”という感じで本当に良かった。

★伴奏っていかに難しいか再確認したんですけど、来年は絶対また来ます。

★合奏って初めてで、楽しみっていうかドキドキっていうかかなり感じるころがありました。伴奏の方もまだ力が足りないなあと、これからも頑張りたいと思います。

★「いつでもどこでも、メロディーをまじえた友はともに続く」というか、ここへ来る途中の人達がみんな親切にしてくれて、メロディーを愛する人たちの仲間なんだなあと思いました。今回、術後二日目の参加でしたが来てよかった。

★メロディーに自信が無いと蛇腹も動かなくて、まだまだ伴奏どころではないです。

★初めての参加で、知らない人ばかりでどうしようって思っていたけど、皆さん優しく楽しく過ごせました。

私は伴奏以前の感じで、みんなで弾いていた時は両手で普通に弾いていたつもりなのに、じゃ4人でやりましようって言われたら舞い上がってしまいまったく弾けませんでした。もうちょっとアコーディオンと日常から仲良くしたいなと思いました。あと、普段聴いたことの無い曲を聴けたので世界が広がった感じです。

★池田先生のおっしゃることが最近ちょっと響くようになりました。各長調、短調の＃と♭4つぐらいまでの主要三和音全て押さえられるように時間があるとやっているけど、並びが変わるだけで頭が混乱してきますよね。歳のせいかなと思うんですけどめげずにやっていけばと思っています。

★池田先生の講座は3回目ですけど、大変役に立っています。ライブハウスなんかでギターで弾き語りをしているシンガーソングライターの方とペアでライブをやることあるんです。そのとき相方のオリジナル曲にアコーディオンでアレンジするときに、何もない所(メロディー譜)にコードを付けたり対位旋律を作り出すっていうことをいろいろ教えていただいて本当に役に立っています。

★宮城県の名取にもアコーディオンサークルがあります。公民館のようなところで集団レッスンがあり、その卒業生が集まってサークルをつくっているんですが、教室が無くなったのでみんな独学なんですね。で、ピアノをやっていた人はいるけれども、何を練習したらいいのか、どういうふうに練習したらいいのかがわからなくて、参加してみました。仲間にも話したら何人かは行きたいという人はいたんですけど、遠かったり、学校の先生は期末に当たり多忙で私一人で参加しました。とても良く理解できました。あとは頭の中に入ったことと、ノートに書いたことを指が動くように訓練あるのみかなと感じています。

★ギター譜だとカピアノ譜を集めても自分で加工できないのが歯がゆかった。教えていただいたことを参考に実践できるかなと希望が出てきた。

★一番心に残ったのは、アコーディオンは音は出るけども、そんな音じゃ音楽にならないよ。生きたいいい音を出さなくてはだめだということでした。

□1日目、夕食後の交流会も楽しみのひと時でした□

参加者が一通り自己紹介をするだけでかなりの時間を使ってしまいましたが、幸いなことに利用した食堂には時間の制約がなかったので、独奏を披露する人や飛び入りで歌の伴奏に参加する人などで、歌声喫茶風になっぴり楽しめました。(以下交流会の様子)



※交流会は自己紹介から始まり歌声喫茶へと進行了しました。



飛び入りで歌の伴奏の実践



▲独奏を披露する参加者も「広い河の岸辺」を独自の調で ▲「ビリーブ」に挑戦(昨年、伴奏講座で青山先生に朝食前の20分間で付けていただいた譜面を練習してきたと披露)



▲大学の歌声サークルに入るきっかけになった 交流会の後、有志で二次会も▲
という「心さわぐ青春のうた」を演奏する青山講師

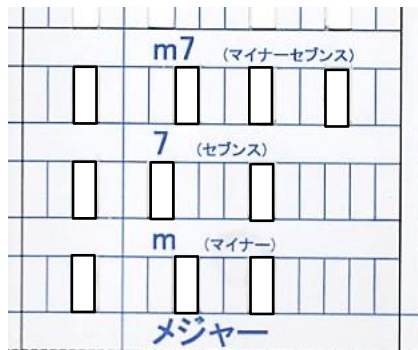
■コード表示(計算)尺の紹介■ 伴奏講座に参加された方で自作の「コード表示(計算)尺」

を使っていた方がいらしたので紹介いたします。(1.本体、2.鍵盤、3.和音の構成位置板、の三つのパーツを組み合わせて使います)パソコンで本体(1)、鍵盤(2)、鍵盤上の和音の構成位置をくりぬいたシート(3)を作成して、そのシートを厚紙に貼ってある)

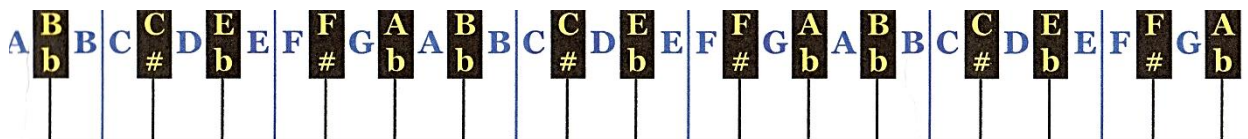
1.本体



3.和音の構成位置板



2.鍵盤



■使い方

右の写真のように、鍵盤を横軸にし、コードの種類を縦軸にして使います。

①本体の「根音」と表示のある窓に調べたい調の「ド」の音が来るように鍵盤をスライドして合わせる。②次に、「メジャー」「マイナー」「セブンス」などのコードネームに合わせる。

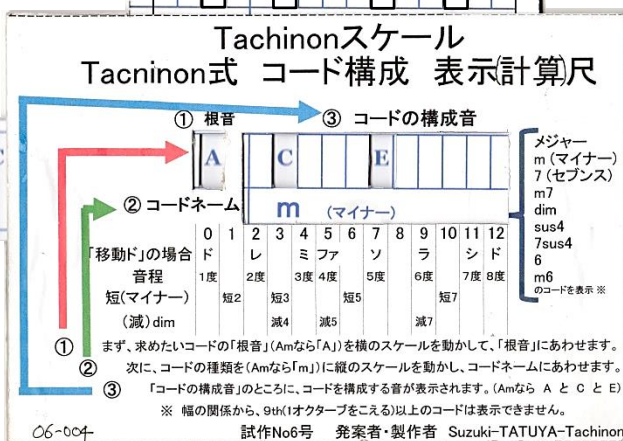
③すると、コードの構成音が表示される。

発案者・製作者:鈴木達哉 ☎ & FAX:0224-53-1795 E-Mail:tachinon@beige.plala.or.jp

URL <http://music.ap.teacup.com/tachinon/>

※個人で作成・利用することにおいて、制限はございません。

しかし、考案者の諸権利を放棄しているものではありません。印刷・製品化販売など商業的利用を希望する場合は、Tachinon の承諾が必要です。(製作者より)



♪「そよ風コンサート」 ぶらり訪問記 ♪

主催:音楽センター北部教室(講師:木下そんき/鶴見篤子)

日 時 2015年6月28日(日) 14:00 開演
場 所 板橋区立蓮根地域センター 3フレクホール

去年は(アジサイコンサート)の名前でしたが、今年は時期が少し遅れたために、(そよ風コンサート)にしたそうです。オープニングは教室生全員合奏のドレミの歌で始まり、最後のアンコール曲もドレミの歌で閉めていました。

手作りというかみんなが協力して作り上げている感じでほほえましさを感じました。合奏の椅子出しもみんなでおこない、司会も出番でない人が交代で聴き手を楽しませるコメントをしてくれていました。外部からの要員はいないようでした。

特にご高齢の方の活躍が光っていました。例えば9番目に(ゴンドラの唄)の三重奏があったのですが(合計の年齢が250歳です)とのコメントに会場はほほえみに包まれました。

教室生は11名だそうです。全員独奏に取り組んでいます。その他に合奏を3曲ですから生徒さんは少なくとも4曲は弾いていることになります。初心者には重たいことでしたでしょう。

去年のアジサイコンサートよりみなさん数段上手になっているなと思いました。

私は早くにきたので、一番前に座っていたのですが、後ろのお客さんは女の方が大部分のようでは60人はいたと思います。

後半の始まりに、木下そんき作品の3曲を、そんきさんの伴奏で山田千賀子さんが歌いました。(君の笑顔ステキだから)(峠の坂道)と(ふるさとの風)は譜面つきでしたので、山田さんが歌唱指導を行いました。

私は生徒さんの顔は大体わかるので、1年経つと上手くなるのだなと、感心しました。特に

古藤田さんの(パリの屋根の下で)、高瀬さんの(祖国よさらば)、野呂さんの(パリの空の下セーヌは流れる)、の高齢の3人には驚きました。私から見ると難曲と思えるものに挑戦している姿勢です。

最後の合奏は、(新世界 第四楽章)ドヴォルザークの有名な曲です。全体は30分もかかるものですが、そんきさんの編曲で、おいしい部分を編曲したものです。何度もその演奏会で演奏しているらしく、難しい曲をそれなりに弾いていました。難しい部分は特別参加の3人が加わって助けてくれているとコメントがありました。

最後の合奏の椅子並べをしている間に木下そんきさんが『ジャバラの中にハーモニカの大きなものがたくさん入っているので、大型の楽器は10kgを超える重いものです。また、右手の鍵盤も左手のボタンも見えません。ボタンは120あるのですが印は三つしかついていません。ピアノを弾く人なら右手はなんとかありますが、左のボタンは全く手探りです。でも、メロディーも伴奏も同時にできる楽しい一人オーケストラと言われる楽器です。この機会に触ってみてください』と話されたアコーディオンという楽器についての解説が皆さんによく解ったのではないかと思います。

(感想:タナカ セキ)



合奏の様子 指揮:鶴見篤子講師(主催者提供)

♪「山田千賀子(ソプラノ) 音楽会&一緒にうたう会」 ぶらり訪問記♪

日 時 2015年7月11日(土) 18:30 開演
場 所 板橋文化会館小ホール

筆者の住む川崎にも音楽センターのアカーディオン教室があり受講するようになって22年経ちました。山田千賀子さん(以降、山田さん)は、当時から音楽センター教育部でアカーディオン教室を担当され、各教室の発表会にはゲスト出演の声がかり、素敵な歌声で今日まで教室を支えている方です。

歌の生活45年とおっしゃっていましたが、歌劇のように物語を歌う場面は見たことがありませんでした。初めての音楽会とのことであってでしょうか様々な年齢層のお客さんで300席以上の客席がいっぱいでした。

プログラムは【第一部 山田千賀子(ソプラノ) 音楽会】、休憩をはさみ【第二部 山田千賀子と一緒にうたう会】の二部構成です。

登場された山田さんは、光沢のある深緑色のドレスの効果なのか、日頃見慣れているはずの身長が顔一つ分背が伸びたように大きく見えました。

最初のうたは「母なる故郷」(作詞:入江晃／作曲:木下航二)ピアノ:宮津日留人、アカーディオン中山英雄(写真)。二曲目が「城ヶ島の雨」(作詞:北原白秋／作曲:山田耕作)ピアノ:宮津日留人“雨がふるふる 城ヶ島の磯に〜”おなじみの曲ですが、私たちが歌っている曲は「梁田貞作曲」の方です。今回の山田耕作作曲の語りかけるようなうたは、お客さんも初めて聴く方が多かったのではないのでしょうか。

その後、歌劇「ルサルカより」『白銀の月よ』(作曲:A.ドヴォルザーク)／オペレッタ「メリーウィドウ」より『ヴィリアの歌』(作曲:F.レハール)、もう一曲歌劇「トスカ」より『歌に生き 愛に生き』(作曲:G. プッチーニ)と歌劇が続きま

した。

豊かな声量で言葉がはっきりと立ち、それでいてぬくもりのある声は素敵でした。また、詞の中に入り込むときの表情も素敵です。他に、「死んだ女の子」(原詞:ナジム・ヒクメット／訳詞:中本信幸／作曲:外山雄三)、「海に生きたあなたよ」(作詞:埋田昇二／作曲:木下そんき)を歌いました。(写真:「母なる故郷」より)



第二部は明るい花柄のドレスに着替えて登場。伴奏も、山田さんが団長を務める「合唱団北星」のピアニスト、毛利正氏に替わり、45年前、九州福岡でうたごえに出会ったときから大好きだったという「わたぼこの中に咲いた花」で始まりました。お客さんも一緒に歌い始めると会場の空気がガラッと変わりました。

続いては「思い出の歌」の数々で、ギター・ボーカルに大熊啓氏が加わり、ロシア民謡にはアカーディオン(中山英雄)も加わり会場が一段と明るくなりました。曲は「下町の太陽」「広い河の岸边」「カチューシャ」「ウラルのぐみの木」「長崎の鐘」など、また、「合唱団北星」の皆さんと一緒に「会津磐梯山」「仲間間のうた」「我らの仲間」「故郷」をうたいました。

途中、アカーディオントリオで「愛のあいさつ」(Acc:木下そんき・鶴見篤子・稲葉由理子)の演奏、また、宮津日留人のピアノで「夜来香」(イェライシャン)も歌われました。

二部はステージ上のスクリーンに歌詞を映し出して進行。客席も参加しやすく会場が一瞬になり大いに楽しんでいました。(記:乙津)

『PAPERNICA (ペパニカ) ワークショップ』に参加してみました！

2015年7月26日(日)14:00～15:30 会場:谷口楽器(お茶の水)4階アコーディオン売り場

講師:岡田路子さん(大阪市に工房を持つアコーディオン修理師)

紙を折って作る手のひらサイズのバンドネオンを思わせる形の楽器。

谷口楽器のホームページで(タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語るつどい』)を見ていて、その下に「ペパニカ」ワークショップを見つけました。当日の二日前でしたが電話で問合せたところ申込みOKでした。(材料費等2,000円)

約1時間半程度で完成しました。ペーパークラフトのようにちょっと厚めのしっかりした用紙を使い、山折と谷折の連続で蛇腹をつくります。指を入れるバンドなど各パーツをのりとボンドを使い分けて組み立てます。リードは、ハーモニカ用のしっかりした金属リードを使用しているので音色はとてもきれいです。(単音だけれど押し引き両方音が出るように2枚つけてあるのでベローシェイクのようなことも出来る)



▲筆者の作品

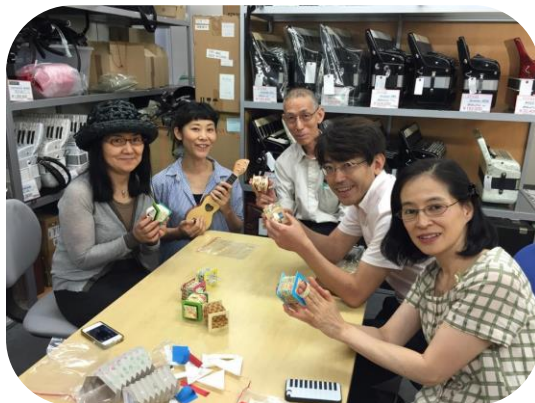
▼親指と中指と薬指で挟んだ感じ



今回の受講者は4人でした。1人1音で「C/ド」のリードを付けた人、「D/レ」を選んだ人、私は「E/ミ」を選びました。もう一人は「F/ファ」のリードを選んだので、講師が「G/ソ」をつくり、完成後「聖者の行進」を全員で演奏して楽しみました。(写真の左から2人目が講師の岡田さん、その右が筆者)

見るのも初めてだったので、帰宅後「ペパニカ」で検索しウェブサイトをいくつか見てみました。

「ペパニカ」は講師の岡田路子さんが、蛇腹で奏でる音の楽しさを知って欲しいと2012年に考案し、各地でワークショップを開いていることが分かりました。自分で作る楽しさと、蛇腹に使うカラフルな絵柄も素敵で見た目でインテリアとしても人気を集めているようです。来年も7月後半に谷口楽器4階のアコーディオン売り場で開催を予定しているとのこと。 (記:乙津)



..... **ホワイトボード** (連絡はがきその他より)

♪ **タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』** ♪ * 谷口楽器のホームページより*
会 場 谷口楽器4階アコーディオン売り場 ◆住所 千代田区神田駿河台1-8 タニグチビル4階
第156回 2015年8月30日(日) 13:00~14:30 講師: 牧田ゆき氏「歌の伴奏について」
第157回 2015年9月27日(日) 13:00~14:30 講師: 安西創氏「ミュゼット・アコ・デコボコ道中」
問合せ 要予約 TEL03-3291-2711 Fax 03-3291-5188 ★各回定員20名(入場無料)
<http://www.taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

.....
♪ **うたごえ喫茶“ともしび”があなたの街にやってくる!** ♪ * 首都圏各地に歌声の輪を拡大中! *

◎ 日時 8月16日(日)午後 開場12:30 開演13:00(15:00終演予定)
会場 所沢市民文化センター(ミューズ キューブホール) ★西武新宿線「航空公園」駅東口より8分
参加費 共通 2,000 円(全自由席) ※ともしび歌集「うたの世界」533と209を使います。当日貸し歌集をご利用の際は、別途100円がかかります。ともしび新宿店の「歌集貸出カード」は使用できません。
問合せ ともしび音楽企画 ☎03-6907-3801 FAX03-6907-3812 <http://www.tomoshibi.co.jp>

.....
♪ **八王子市芸術文化会館(いちようホール)ロビーコンサート** ♪

日時 2015年 9月12日(土) 12:15~12:45
会場 八王子市芸術文化会館(いちようホール:ロビー) ★入場無料
出演 TeamP アンサンブル(ヴァイオリン/チェロ/コントラバス/アコーディオン/ピアノ)
コメント リベルタンゴ/オブリヴィオン/天使へのイントロダクション/天使の復活など、ピアノの代表作を演奏いたします。お近くにお住いのみなさま、お時間がありましたら、ぜひお立ち寄りください。
交通 JR「八王子」駅北口6~10番・京王線「京王八王子」駅2、3番のりばより乗車、「横山町三丁目」または「八日町一丁目」下車徒歩3分



.....
♪ **2015年度 日本アコーディオン協会「公開レッスン」のご案内** ♪ * 聴講者募集 *

日時 2015年 9月13日(日) 午前10時~午後4時30分 講師 御喜美江氏
会場 東京労工会館 R's(アールズ)アートコート ★JR 山手線「新大久保」駅下車徒歩8分
□一昨年・昨年と続けてまいりました御喜美江さんの公開レッスンを、今年度も御喜美江さんのご厚意により開催することになりました。お陰様で、毎年、音楽の理解が深まると同時に、アコーディオンだからできる様々な表現方法が学べると、大変ご好評をいただいています。(チラシより一部を転記)
《聴講者募集》 聴講料:4,000円(JAA 会員3,500円 小中学生500円)
問合せ NPO 法人日本アコーディオン協会 ☎03-5909-3187 E-mail:jaaoffkw@npo-jaa.jp

.....
♪ **ともしび 秋の大うたごえ祭り** ♪ * 歌でつながる心と心 ひとつの歌をみんなであうたうと元気が出ます *

日時 2015年 9月13日(日) (開場11:30) 12:15~13:00 ステージ1/13:15~14:00 ステージ2/
14:15~14:45 ベイビー・ブーと歌おう/15:00~15:45 ステージ3
会場 上野公園野外ステージ(水上音楽堂)★東京メトロ千代田線「湯島」駅より5分/JR「御徒町」駅より7分
ゲスト ベイビー・ブー(男性5人のボーカルグループ)
参加費 指定席(前売り3,000円/当日3,500円) 自由席(前売り2,500円/当日3,000円)
コメント お持ちの歌集をご持参ください:「うたの世界 533」(緑色)と「うたの世界 209」(赤色)を使用します。
※ともしび新宿店発行の「歌集貸出しカード」は当日ご利用になれません。(貸出歌集は1セット100円です)
※会場内で自由に飲食できます。(ゴミなどはお持ち帰り下さい。ご協力をお願い致します)
チケット申し込み・問合せ ともしび事務センター ☎03-6907-2731(月~金曜日 10:00~18:00/土曜日 10:00~17:00) ホームページ <http://www.tomoshibi.co.jp>

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪ 平日の午後にみんなで歌う会 ♪ * どなたでも参加できます *

日 時 2015年 9月18日(金) 午後2時~4時(途中入退場可) □10月は23日(金)です

会 場 音楽センター会館・B1ホール ★JR山手線「新大久保」駅より8分/地下鉄「東新宿」駅より7分

進行・伴奏 新井幸子(歌声アコーディオン伴奏家)

会 費 予約(前日まで)1,000円/当日:1,100円 ※お茶代・歌集レンタル料含む

コメント うたごえの歌・童謡・唱歌・懐かしい流行歌などを一寸お茶しながらアコーディオンの伴奏で歌ってみませんか?

問合せ 音楽センター教育部 ☎03-3208-8377 FAX:03-3200-0104(お気軽にどうぞ!)

♪ coba special concert ♪ * cobaのアコーディオンを聞くと心が騒ぎ出す 情熱と陶酔の一夜 *

日 時 2015年 9月26日(土) 開場17:30 開演18:00

会 場 板橋区立文化会館大ホール ★東武東上線「大山」駅より徒歩 3 分

予定曲目 SARA/過ぎ去りし永遠の日々/リベルタンゴ/他 ※変更となる場合がございます。

料 金 全席指定 4,500円 ※未就学児の入場はご遠慮いただいております。

チケット取扱い 板橋区立文化会館チケットセンター ☎03-3579-5666(9:00~20:00)

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 263-338)

JTBエンタメチケット 0570-03-0311 <http://www.jtb.co.jp/ticket/>

♪ 関 英昭 アコーディオン・リサイタル ♪ * 主催: 55 アコーディオンサークル (富永) *

日 時 2015年 9月27日(日) 開場13:30 開演14:00

会 場 ティアラこうとう(小ホール) ★地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅下車 A4 出口より徒歩4分

主な演奏曲 オンブラ・マイフ/涙の流れるままに/舞踏への勧誘/モザイク・エスパニョール/関編曲小品
集/アニメ映画「紅の豚」より「マルコとジーナのテーマ」/天使のミロンガ/合唱伴奏「息子たちよ」
/合奏指揮「想いの届く日」「島唄」/他

ゲスト演奏者 山田千賀子(ソプラノ) 佐藤佳奈子(ピアノ) 石播労働者合唱団(合唱)

友情出演(アコーディオン)稲葉由理子 小林のり子 森 陽介

問合せ 関 英昭(h.seki8@icloud.com) ※料金:1,800円

注 意 残席僅少、当日券なし。聴きに行こうかなと思う方は、問合せをしてご確認ください。(主催者より)

後 援 NPO 法人日本アコーディオン協会(JAA) 音楽センター土曜教室 協賛:関東アコ・演奏交流会

♪「花とアコーディオンコンサート」♪ * 主催: 千葉アコーディオンサークル *

日 時 2015年 10月3日(土) 開演14:00

会 場 三陽メディアフラワーミュージアム(旧:千葉市花の美術館)

交 通 JR「稲毛」駅西口、2番バス乗り場より(海浜交通バス「海浜公園プール行」

に乗車)「花の美術館」で下車、徒歩5分/JR「稲毛海岸」駅南口、2番バス乗り場より(海浜交通バス「海浜公園入口行」に乗車)終点で下車、徒歩5分

主な曲目 ラ・ワンパルシータ/真珠とりのタンゴ/日本民謡メドレー/峠のわが家/コンドルは飛んでいく/他

料 金 コンサートは無料ですが、ミュージアムの入館料が300円必要です。



第27回関東アコーディオン演奏交流会「第6回実行委員会」のお知らせ

8月30日(日)14:00~(プログラム等印刷)/17:30~実行委員会 かわさき市民活動センター

■プログラム等印刷作業

■本番での役割分担確認

■進行表の確認

■会場下見の報告

■チケット普及の集計

■お客さんを増やす取り組み

■その他

